

保護者各位

鳥栖市立基里小学校
校長 下川路 隆之

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「知識及び技能」における「情報の扱い方に関する事項」は全国平均率と同程度でしたが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均正答率を下回っていました。
- ・「情報の扱い方に関する事項」の中でも、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解できているかをみる問題では、全国平均正答率を大きく上回りました。
- ・「思考力、判断力、表現力等」については、「読むこと」は全国平均正答率を上回りましたが、「書くこと」は、全国平均正答率を下回っており、「話すこと・聞くこと」は大きく下回っていました。
- ・「読むこと」の中でも、目的に応じて必要な情報を見付けることができるかをみる問題では、全国平均正答率を大きく上回りました。
- ・「話すこと・聞くこと」においては、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題は、全国平均正答率と同程度でした。しかし、相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる問題の正答率は全国平均を大きく下回り、課題が見られました。
- ・「書くこと」では、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題の正答率が低く、課題が見られました。

(2) 算数について

- ・本校の算数の全体平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「知識・技能」では、立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる問題は全国平均正答率を大きく上回っていました。しかし、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図形を選ぶことができるかをみる問題では、正答率が低く全国平均正答率を大きく下回りました。

- ・「思考・判断・表現」の正答率は、全国平均正答率を上回っていました。単位量当たりの大きさを求める除法（わり算）の式の意味を理解し、その商からどちらのほうのほうが混んでいるのかを判断する問題では、全国平均正答率を上回っていました。
- ・領域別に見ると、図形は全国平均正答率と同程度でしたが、その他の領域は全国平均を下回っていました。中でも「変化と関係」は正答率が全国平均を大きく下回っており、課題が見られました。
- ・「数と計算」の中でも小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数を作ることができるかをみる問題の正答率は高くなっていました。
- ・問題全体として、記述式の問題の正答率は全国平均正答率と同程度でした。しかし、選択式や短答式の問題は、全国平均正答率を下回っていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・基本的な生活習慣の「朝食」に関する項目では、「毎日食べている」と回答した児童の割合は、全国の割合を下回っていました。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは、進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童の割合は、全国の割合を上回っており、向上心や向社会性の高さがうかがえます。
- ・学校の勉強のことや悩みについて、親や家族と「ほぼ毎日話す」と回答した児童の割合は、全国の割合を大きく上回っており、心理的安全性を感じている児童が多いことがうかがえます。
- ・「自分にはよいところがある」「先生は、自分のよいところを褒めてくれる」と回答した児童の割合は全国の割合を大きく上回っており、多くの児童が自己有用感を感じているようです。
- ・「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した児童の割合は、全国の割合を大きく上回っていました。
- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると回答した児童の割合は、全国の割合を大きく上回っていました。
- ・「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）1日当たり1時間以上勉強している」「学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強している」と回答した児童が、全国の割合を大きく上回っていました。
- ・一方で「国語の勉強が得意」「算数の勉強が得意」と回答した児童の割合は高くなく、全国の割合を下回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・読書を奨励したり、学習した重要語句を掲示したりして、語彙力を高める指導に力を入れます。
- ・朝のスキルタイムや授業導入時の復習タイム、宿題等の内容や方法を見直したり、四則計算や新出漢字の定着に取り組んだりすることで、基礎学力と書く力の向上に努めます。
- ・理由や事例を挙げて相手に伝わるように書く活動を取り入れて、書く力の向上に努めます。
- ・叙述や問題文の大事なところに線や印を記入する指導を全学年で行い、情報を整理する力や読解力の向上に努めます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間のめやす：学年数字×10分＋10分としています】

1年生：20分 2年生：30分 3年生：40分 4年生：50分 5年生：60分 6年生：70分

◎学習する時間や場所を決めて取り組ませ、学習習慣を身に付けさせましょう。

◎タブレットやスマートフォン等でのSNSや動画、テレビを見る時間、ゲームをする時間を決めて、長時間にならないよう声かけをお願いします。

◎短時間でも継続的に読書をするような声かけや家族で読書をする取り組みへのご協力をお願いします。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎「早寝・早起き・朝ご飯」を実践して十分な睡眠と朝食がとれるよう、ご協力をお願いします。

◎お子さんががんばったことやよくできたことを、ほめてください。